



『希望・創造・友情』あふれる学校

すずかぜ

都立花畑学園

第1号

R8/4/6 発行



花畑学園の学校だより

令和8年度の始まり

校長 永島 崇子

令和8年度の始まりです

春の柔らかな光とともに、令和8年度が始まりました。校内の木々も芽吹き、子供たちの新しい一歩を温かく見守っているようです。本年度は、副校長の原川健一郎(はらかわ けんいちろう)をはじめ、新たに42名の教職員(初任者は9名)を迎えました。この出会いを大切にしながら、互いを知り、支え合う関係づくりを進めてまいります。春季休業中に咲き始めた桜は若葉が見えるようになりました。自然の移ろいに心を向けるように、子供たちの小さな変化を見逃さず、安心して挑戦できる学びの場を整えてまいります。教職員一同、対話を重ね、信頼を育てながら、『希望・創造・友情』に満ちた学校づくりに努めてまいります。どうぞ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、東京都特別支援教育推進計画(第二期)第三次実施計画(令和7年3月発表)では、変化・進展する社会に対応した特別支援教育の推進について、

- 1 変化する社会において自立して生きるための力の育成
- 2 デジタルを活用した教育活動の展開
- 3 豊かな心と健やかな体を育むためのスポーツ・芸術教育等の推進

という3点が施策の方向性として挙げられています。様々な項目がありますが、「言語や文化に親しむ教育の推進」において、言語活動や読書活動の充実が挙げられています。花畑学園の図書館は、児童・生徒数に対して少し小さな図書館ではありますが、令和6年度の途中から月に3~4回、特別支援学校の図書館の充実に御尽力くださっている司書さんに来校していただき、読み聞かせや教職員の研修にもお力添えをいただいております。また、令和7年度末からは足立区立中央図書館とも連携ができ、毎月図書を貸し出してくださることになりました。足立区の本は学校内での活用になりますが、児童・生徒の皆さんの学びの広がりや充実に向けて、一步一步取り組んでまいります。重ねてよろしくお願い申し上げます。

